

全国協議会 ニュース

2007年5月1日発行 第179号

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髓バンク 推進連絡協議会 〒160-0005 東京都 新宿区愛住町23-1 Woody21-9階 TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637 発行責任者:品川 保弘 http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

「造血細胞移植医療将来像検討会議」中間報告

造血細胞移植医療将来像検討会議では、現在の造血細胞移植医療を包括的に見直し、「一人でも多くの患者さんが一日も早く、充実したスタッフと環境の下で造血細胞移植を受け社会復帰する」ための仕組みについて議論しています。ここでは、骨髄バンク関連の部分について簡単にその内容を紹介します。論点は、3つあります。

第一は、アクティブドナープールの構築です。これは、骨髄提供の意思確認ができていてHLAデータが4桁化された30万人のドナープールを2012年までにつくるというものです。ドナーリクルート、ドナー登録からデータ管理までを日赤の本来業務とし、その豊富な経験をもとに献血と連携させながら新規ドナー登録およびドナーリテンションを行うこと、また、2桁データを4桁化する過程で登録者の提供意思等の再確認を行うことで達成します。これにより、連絡不通といった状態を改善し、応諾率の向上を図れると考えています。

第二は、コーディネートの抜本的な見直しです。患者登録してから1ヶ月以内に提供可能なドナーが見つかり移植が決定することが目標です。すでにコーディネータープロセスごとの時間短縮は限界にきており、さらなる短縮のためにはプロセスの簡素化が必要です。コーディネーター業務も日赤の業務に一体化すれば、ドナーにとって利便性の高いコーディネーターができる

の考えが出ています。ただし、最終同意以降のプロセスは採取・移植センターに配置する移植コーディネーターの担当とします。第三に移植・採取センターの整備です。移植成績、QOLを向上させ、患者ケアを充実させるために、スタッフと設備等の資源を基幹となる病院に集中投入することが必要です。簡単にまとめると、造血細胞移植医療を日赤の造血細胞バンク部門と移植・採取センターに集約するということになり、実現するには制度的・体制的な大きな壁がありますが、さらに検討を加え、真に患者救命につながるシステムを提案していきたいと考えています。(四方田)

バイシクルライイド2007イン東京

自転車に乗って、スローライフ、エコライフを実践しつつ東京の街並みを満喫し、同時にチャリティにもつながる壮大なイベントが、去る4月15日、晴れ渡った青空の下で開催されました。

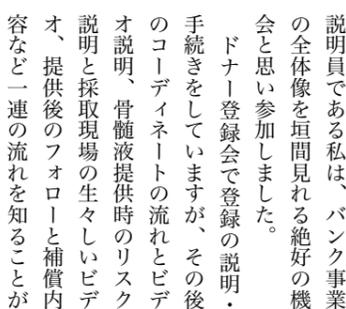
難病の子供たちの夢の実現を



目指すメイク・ア・ウィッシュ。チャリティイベントとしては今年で5回目ですが、標記イベント実行委員会のご配慮を得て、昨年引き続き全国協議会も参加協力させていただきました。閉会式では、特別協賛のプルデンシャル生命保険株式会社様より、参加者(約千人)と協力ボランティアの人数に一人あたり五百円を乗じた額、さらにはプルデンシャル社員の参加人数に一万円を乗じた額の合計を白血病患者支援基金へご寄付いただきました。

なんとも不思議なイベントです。思い思いのスタイルでお気に入りの自転車を駆る元気な人、元気になりたい人、元気を取り

戻した人：若者男女の区別無く、さらには著名人と称される方々も、一般人とともに和気藹々とペダルを漕ぐのです。自転車で走ればもちろん楽しい。コースに沿って立哨するボランティアも楽しい。企画準備に奔走した裏方のスタッフも、飛び切りの笑顔でゴールに帰ってくるライダーを出迎えた瞬間、湧き上がる喜びを抑えきれない。当日の様子を思い浮かべるだけで、全身に暖かさが広がり、目頭が熱くなります。支援することと支援されることが表裏一体であり、みんなでひとつのことを成し遂げる喜びを分かち合えた一日でした。(品川)



「はじめて参加したバイシクルライイド」(名川晃太小6) 参加者は1200人以上、かつこい自転車を持つている人も大勢いました。お父さんに「ちよつと速いからゆっくり行こうよ。」と言われたが、僕はそんなに速く走っているつもりはなかったが、前に人が誰もいないと、おいていかれたかと心配になるからだ。僕はAグループだったので8時過ぎにスタートして、10時半過ぎにゴールしました。休日は3ヶ所でした。景色はあまり見えていない。どこを走ったのかもわからない。ひたすらペダルをこいだけでした。ゴールしてすぐ参加者全員がひける三角くじは4等だった。じゃんけん大会では、あと2回勝てばパソコンをゲットできたのに、くやしい。あとで20kmのコースだったと聞いたが、あまり疲れていない、楽しい一日だった。

財団研修会に参加して

骨髄移植推進財団が、2月3日から3月24日まで、ブロッック毎に全国8か所(札幌、仙台、新潟、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)で「地区普及広報委員・説明員合同研修会」を開催しました。

将来展望に関する検討会議で検討された論点の理解を深め、ドナーコーディネーター、フォロアアップに関して知識を深め、今後の普及啓発活動に資することを目的とした研修会だったのですが、参加された皆様はどのように感じられたでしょうか。

【仙台会場】 3月11日に仙台での研修会に参加しました。コーディネーターの現状では地区事務局長が説明に立ちましたが、理念や本質的な質問には答えられる訳もなく、物足り無い印象でした。普及広報に関して、財団は我々財団の普及広報委員・説明員という肩書きのボランティアに一体何を求めているのか、何を期待しているのか、全く見えてこないという意見が多くの方から出されました。たくさんの方を集め、資金を使っておこなう研修会ですから、次回からは意義あるものにして欲しいと切に感じました。(秋田 萱)

【名古屋会場】 3月18日名古屋国際会議場にて、東海地域で活動するボランティア20名が参加しました。骨髄バンクの概要と現状、将来展望に関する検討会議状況報告など、ドナー登録者30万人達成後の設定やドナープールの有り方などを説明されました。我々ボランティアにも一刻も早く方向性を示して頂き、患者や

都庁で初めてのあやちゃん展

4月12日から16日まで、東京都庁45階南展望台で、NPO法人日本移植者協議会の主催による「ギフトオブライフ いのちの贈りもの」が開催されました。会場には、臓器移植を受けた子どもたちの絵画、移植者スポーツ大会の写真のほか、今回は、角膜移植を受けた子どもたちの絵も初めて展示され、見学者にいのちの尊さ・大切さを訴えかけました。

あやちゃん展の都庁での開催は初めてのことであり、各国からの観光客も大勢訪れ、あやちゃんの絵の前でも多くの方々が足を止めて見入ってくださいました。



2007年度賛助会員 (4月1日~4月15日) 美濃加茂あじさいライオンズクラブ 全国協議会の活動にご賛同頂き、誠にありがとうございました。引き続き、企業・団体のほか、個人の皆様からのご協力も募っております。どうぞよろしくお願いたします。 団体(法人) 年会費 1口 5000円 個人会員 年会費 1口 2000円 ※お申し込みは全国協議会事務局までお願いいたします。



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

神奈川 第16回チャリティコンサート サート・円覚寺で開催



神奈川骨髄移植を考える会では、恒例の円覚寺チャリティコンサートを4月7日に開催しました。
毎年桜の美しいこの季節に円覚寺方で重厚な演奏をしてくださるサンクト・フローリアンピアノ三重奏団は、今年結成20周年を迎えるそうです。司会の坪郷佳英子さんのリードで曲の合間のトークの時間に様々なエピソードを披露していただけるのがこのコンサートの楽しみの一つです。

また、1989年に友人のピアニスト金子いづみさんが慢性骨髄性白血病を発病し、メンバーの皆さんでドナー登録をしたこと、骨髄バンクチャリティコンサートを始めたことなどにも、ふれてくださいまし

静岡 焼津マラソンでの 普及啓発活動

毎年恒例になっている「焼津みなとマラソン」での普及啓発活動に、今年も「社会福祉法人正生会」特別養護老人ホーム「つばき」の職員さんたちが参加していただきました。「つばき」の方がチラシを配って



た。1992年に始まったこのコンサートも、16回を数えます。1996年に金子さんは亡くなりましたが、サンクト・フローリアンの熱い思いは消えることがありません。来場者は約250名で、ブライムストドヴォルザークのピアノ三重奏曲を堪能していただけたことと思います。
このコンサートに関わる全ての皆様に心よりお礼を申し上げます。(阿部)

ごんにちは募金箱

その31

株式会社 洋伸の赤澤伸と申します。ひと手間加えた手作り料理を最高の空間、雰囲気でお客様一番のおもてなしを：を指して現在、ほっこりだいにんぐ、とに火久(とにかく)を千葉県内に6店舗展開しており、そしてこの春からは、手羽先唐揚・焼きとり・とり惣菜の銀座鳥屋一代をショッピングセンター、大手スーパー内に出店してまいります。
昨年7月妻が急性骨髄性白血病を発症し、その闘病生活を身近で見て、初めて白血病の事を詳しく知り、これだけ苦しんでいる人がいるのだから、微力ながら何かお役に立てないかと調べたところ、千葉骨髄バンク推進連絡会の黒川様をご紹介頂き、それから各店舗のレジ横に募金箱を設置させていただいております。また社則の一つとして、「ドナー休暇4日間」も新たに加えて、白血病、骨髄移植が少しずつでも認知されてくればと思っております。

そして妻もお陰さまで7ヶ月の入院生活で無事退院できました。まだまだ完治に至るには時間もかかりますが、これからの微力ながら精一杯支援させていただきます。と思っております。

あいちの会の勉強会の一環で愛知県血液センターへ見学に行ってきました。
献血で、いただいた血液がどのようにして製剤に変わっていくのか、血液事業の現状なども丁寧に説明していただきました。施設内も案内していただき、輸血用血液(製剤)が患者さんたちの手元に届くまでの様子を知ることが出来ました。
本日に知らない事ばかりで、参加したメンバーは真剣に聞き

入っていました。あいちの会では年に2回献血を開催しています。今回勉強した事により活動により力が入るのではないのでしょうか？
皆さんも是非、見学してみたいかがですか？(あいちの会)

い拍手を送ってください、骨髄バンクのことも理解してくれました。ありがとうございます。ボランティア最高。(天橋)

心の声

新しい施設の開設と重なり、新採職員が多かったため、例年になく大所帯となり、有意義な時間を過ごすことができました。とてもいい新人研修だったと思います。職員も思い出に残る活動になったのではないのでしょうか。本当にありがとうございます。

ボランティア最高!

バイシクルライド参加者のスタートを見送った後、このイベントで仲良くなった実行委員の志賀さんに自転車をお借りし、ちよつと銀座あたりまでと自転車を漕ぎました。誘導係のボランティアさんに声をかけられ、ありがたうと言葉を返す。
誘導係で参加している骨髄バンクのボランティアのみんなのことが気になります。築地で頑張っているバンクの仲間の所までと思えば、ペダルに力が入る。2~300メートル間隔で立っているボランティアに笑顔で迎えられる気分は上々、あつという間に築地。「いた!」よし、次のボランティアの所までという感じで結局コースの殆どを走ってしまった。ボランティアみんなのとびつきの笑顔で誘導している姿にこちらが元気になった。ボランティア最高!
赤坂に戻り、大谷会長、4年前移植を受け元気になって今回20kmを走った名川晃太郎(小6)と、ボランティアとして贈呈式に参加した。参加者全員が暖か

第70回 理事会報告

3月会計報告
(協議事項)
● 名義後援、承認案件
● 2007年度総会関係
● 年間スローガン・事業計画案・予算案・事業報告案・決算報告案・定款の変更案
● 2007年度全国大会について
● 2007年度第1回代表者会議について
● 全国協議会運営見直しについて
● いのちの輝き展ポスター作成について
(報告事項)
● 財団関連
● バイシクルライド2007確認事項
● 「白血病と言われたら」進捗状況
● 第4回役員選挙報告
● 2008年度全国大会開催地応募状況
● あやちゃん展等予約状況
● ドナーサポート事業
● 佐藤さち子患者支援基金
● 白血病フリーダイヤル
● グッズ作成について
● 役員選考委員会について

リレー紹介 ボランティアの仲間たち

宮平昭紀さん(東京の会)の巻
通称ミヤーン、沖縄出身、30歳、独身。ボランティアへの参加のきっかけは出会い系!?
昨年、東証マザーズへの上場を果たし話題になった(株)ミクシィ。
「何だか好きになれない東京で楽しいことを見つけた」と、宮平さんがそのミクシィで「草野球」を「新宿」と検索したのは昨夏。
いくつかのコミュニティがヒットする中、東京の有志会員などで構成された「チームバガボンド」に関心をもったそうです。そして、練習日の書き込み等をしていった私(人妻です)との何度かのメールのやり取りがあり、ある日のグラウンドにいきなりやって来たのです。人なつこい笑顔と、高校時代のユニホームを引っさげたミヤーン。スポーツを通じて、骨髄バン



心からのご寄付に 感謝申し上げます

3月26日~4月15日

株式会社サクラホーム	現金	10,000円
第一製薬株式会社有志一同	現金	665,150円
熊谷西ロータリークラブ	現金	41,000円
たっくママの投稿募金3月分	現金	5,891円
渡辺材木店	現金	3,000円
栗原すみ子	現金	150,000円
鈴木純子	現金	1,340円
徳田ひろみ	現金	1,620円
大寺功一	現金	3,045円
松谷ひかり	現金	1,800円
塩谷圭	現金	1,000円
西島洋征	現金	50,000円
匿名	現金	43,110円

●佐藤さち子患者支援基金

日根和美	現金	10,000円
柴田希裕	現金	50,000円

●白血病患者支援基金

渡辺材木店	現金	1,509円
磯屋食堂	現金	6,206円
有限会社すし兵衛	現金	6,690円
元気いちばん亭勝山店	現金	334円
株式会社カンセキ	現金	18,175円
イオン株式会社ジャスコ新東根店	現金	10,405円
鎌倉屋	現金	1,749円
山口久男	現金	3,323円
丸光ビジュアル中迎店	現金	4,155円
姫路地区骨髄バンク推進センター	現金	100,000円
プルデンシャル生命保険株式会社	現金	1,100,500円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

三菱ウェルファーマ株式会社
http://www.m-pharma.co.jp

創薬力

骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

●理事選出
4月13日に臨時理事会が開催され、互選により正岡徹理事長、高藤英彦副理事長、伊藤雅治副理事長が引き続き選出され、さらに、平井全(ひらいあきら)理事が常務理事に選出されました。常任理事は品川保弘氏に代わり、新たに陽田秀夫氏が選出されました。

●平成18年度実績報告(移植 963例、ドナー登録者数 35,159名)
平成18年度の骨髄バンクを介しての骨髄移植例数は、過去最高の963例に達し、平成17年度の908例を大きく上回る55例の増加となりました。新規ドナー登録につきまは、昨年度(45,585名)に次ぐ35,159名でした。

●登録呼びかけチラシ34万枚を全国の18歳の手元に
ドナーの若年層開拓を目的に、高等学校の卒業生、大学・短期大学・専門学校の入学生を対象に実施した骨髄バンク登録呼びかけチラシの配布は、大学260校(学部)、短期大学・専門学校350校、高等学校705校からご協力をいただき、配布総数は34万3464枚に達しました。

●日本骨髄バンクの現状(平成19年3月末現在)

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,555	2,798	276,847	349,159
患者登録者数	176	192	2,244	22,435
骨髄移植例数	93	89	-	8,210
20歳未満ドナー	-	134	4,992 ¹⁾	-
51歳以上ドナー	218 ²⁾	105 ³⁾	6,894 ⁴⁾	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。 *1) 17年3月~ *2) 51歳以上ドナーの延長数 *3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月~